



学生部長
横川剛毅

Gyoeki Yokokawa

揺れる大学生の時期に

「いずみ祭」で保証人会を行いました。そこでお話したことと内容が重なります。ご承知ください。私も大学生の親です。娘は学生で、学生の本分は学びです。一方で、学び以外でも本人の世界は確実に広がっています。学びや経験や人間関係の広がりからさまざまなことを吸収しつつ、社会に出る前にあれこれ考え、揺れているように見えます。

この微妙な時期に親として関心を持ち支える。そのために、口うるさくない範囲でコミュニケーションを図る。気にかけていることを示し、相談があればいつでも聴く。私はそのような存在でありたいです。大学におもしろい先生はいる？アルバイトは最近どう？箱根駅伝や韓流スターのこと（この辺は娘がとでも詳しいのです）。そして将来のこと。話題はかなりあります。

ネットに支配されているような現代社会の中で、少なくない若者が事件やリスクに巻き込まれています。「あなたのことを気にかけている」。保証人がこの思いでコミュニケーションを重ねる、続けることが、変化や危険にいち早く気づくことになり、何よりの抑止になると私は考えます。

保証人の皆様。ご無理のない範囲で、学生生活や身近なことなどを話題にして、意図的にコミュニケーションして聴いてください。聴いたうえで見守って、揺れる大学生の時期をお支えいただきたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



チャプレン
今村愛喜

Aki Imamura

人生の支えと希望となることを願って

和泉短期大学には、「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」という建学の精神があります。目指すものは、私たち人間一人ひとりが神様から愛されているかけがえのない存在であり、それぞれに与えられた能力（賜物）を認識し、他者を思いやる心を育むことです。その上で、「愛と奉仕」の精神を基盤とした豊かな人間性を築いていくことを願っています。

この建学の精神を具現化するため、礼拝（チャペルアワー）を大切にしています。入学当初は、キリスト教に馴染みがなかったり、宗教に対して不安を感じていたりする学生も少なくありません。しかし、チャペルアワーへの出席を重ねるごとに、学生たちの心境に変化が生まれていることを知らされます。聖書の言葉を通して、神様の愛が、学生たちの心に響きつつあること、またそれを将来、保育・福祉の現場で生かそうとの思いも伺えるようになり、嬉しく思います。

父母会の皆様には、本学の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、感謝いたします。学生たちが在学中に神様の愛を知り、聖書の言葉から育まれる温かいものが、将来の保育・福祉の働き場や、それぞれの歩みの中で生かされ、更には人生の支えや励み、そして希望となることを心から願っています。

いづみ祭

2025年
10月25日
(Sat.)





enjoy

SMILE

いずみ祭



実習報告会

2025.10.24.(Fri.)



2025年度会報 編集後記

父母会会報誌をお読みいただきありがとうございました。
今号より従来の紙誌面からWEB誌面へ変更になりました。
皆さまからお預かりしている父母会費を学生たちの学びの環境援助のため、より有効に使っていきたいとの思いで、印刷や発送費用のかからないWEB誌面への変更となりました。ご理解いただけますと幸いです。

いずみフェスティバルでは学生たちのいきいきと輝く笑顔、実習報告会では真剣に課題や実習に取り組んでいる

表情をお届けできたのではないかと思います。

学校生活の一場面を皆さまへお届けできる機会を設けてくださった学校へ心より感謝いたします。これからも父母会は学生たちが充実した学校生活を送れるようお手伝いをして参ります。

最後に、父母会会報誌を発行するにあたり多くの皆さまにご協力いただきましたことを心より感謝いたします。

父母会役員一同